

## 議会報告会記録（平成 26 年 11 月 11 日（火） 健康福祉会館）

### 1部 議会報告

発言なし。

### 2部 意見交換（市民アンケートの報告）

問：これまでに基本条例の政策提言が何件あったか。

答：基本条例に基づく政策提言はない。個々の議員は提言している。今後の検討課題。

問：議員報酬 36 万 9 千円が高すぎる。7～8 年前から報酬カットを要望するが実現しない。年間 50 日程度の会議で高すぎると考えるが、どう検討協議されているのか。

答：毎年度審議してきたが期末手当のカットに止まっている。減額する意見もあるが多数ではない。日当制の意見もある。若い議員の確保等から一定の報酬は必要等多様な意見がある。

問：議員報酬は他市を参考する必要はない。加西市を良くする熱意があれば金額は問題にしない。20 万でも良いだろう。減額を決断すべきではないか。

答：意見は承知するが、報酬が低ければよいとは思わない。議員の仕事は重要かつ責任が重大で一定額は必要。

：議員活動は時間から時間までの仕事ではない。50 日程度の仕事量ではなく、片手間で到底こなせない。しかも 4 年毎に選挙があり、今の水準でよい。仕事や責任が果たせていない議員は選挙で淘汰されると思う。

：報酬が高いか低いか市民の判断も別れるが、審議会での判断が重要である。

：兼業している立場から、1 割カットを主張している。

：それだけしかもらっていないのかと疑問の意見も聞くが、基本や基準がない。

：生活給ではない報酬であり、それ以上の仕事をすれば良いし、現実的にはそれ以上の活動をしている。

：議員報酬をお手盛りで決めた事はないし、報酬審議会の答申で決めてきた金額。

：日当制を主張、日当 3 万で 100 日支給。それ以外はボランティアで、定数は 24 名が妥当であり、各年代層から男女 2 名の選出する。

問：定数は多いほうがよい。日当 3 万で、気に入らない人はやめればよい。500 億の借金をどうするのか。議員は仕事をしているのか、評判の悪い議員も多い。

答：これまでの任期は全力で仕事をこなしてきた自信がある。正否の判断を明確にする性格から敵も多いと認識している。

問：日当制に賛成する立場。休日や夜間に議会を開くことはできないのか。欧米型の議会は定数が多く、責任分担がなされている。ふるさと創造会議が結成されると議会不必要とならないか、住民自治との関わりはどうか。

答：市民や住民の期待に応じて町づくりを行う組織、議会でも議論があるのは事実。議会制民主主義の制度上、議決は議会が行うために不要にはならない。

問：ごみの広域化は、どのような成果が出ているか。大規模改修時の負担割合も明確に。

答：まだ半年程度の期間であるが、成果がでている。具体的な効果分析次第報告する。

意見：時代の変化を受け止めて議会運営を考えてほしい。人口減少への歯止めは時間がかかるが、議会改革はいつでも可能。定数は一定維持しても報酬は減額すべきだ。